

株式会社名村造船所

V L G C

” AQUAMARINE PROGRESS II ”

[概要]

本船は、三菱造船株式会社との技術提携により建造を行うVLGCの第2番船となる。本船の特長は次の通り。

1. 国内主要LPGターミナルへ入港可能な最大船型をベースに、貨物タンク容積を従来の83,000m³型から87,000m³型へ大型化している。
2. 最適船型並びに船尾省エネ付加物を採用することで推進性能の向上を図ると共に、電子制御式主機関の採用により燃費性能および経済性の向上を図っている。
3. LPG/重油2元燃料対応主機関の採用に加え、推進効率の最適化を図ることで、LPGを燃料として使用する場合には、従来の重油燃料船と比べて排気ガス中の硫黄酸化物(SO_x)は約90%、二酸化炭素(CO₂)は約20%、窒素酸化物(NO_x)は約20%の削減が見込め、国際海事機関が定めるEEDIフェーズ3にも適合する環境を考慮した最新鋭船となっている。
4. 次世代のクリーン燃料として注目されているアンモニアも積載可能となっている。
5. 主機関および主発電機関には、窒素酸化物(NO_x)排出3次規制に適合した機種を採用し、更にはエア式船尾管シール装置を採用し、環境に配慮した構成としている。



本船写真

[主要目]

船主：ARAMO SHIPPING (SINGAPORE) PTE LTD 殿
全長：230.0 m
総トン数：50,849
主機関：MAN B&W 6G60ME-C10.5-LGIP-EGRBP

船級：日本海事協会
型幅：36.60 m
貨物タンク容積：87,119.300 m³
定員：29 名

船籍：シンガポール共和国
竣工：2024年4月26日